

JGN II イベント利用報告書

イベント番号(イベント-216)

提出日 平成19年6月20日

(1) イベント名

「JGN II の利活用」に関する講演会(四国 JGN II セミナー)

(2) イベント概要

目的

JGN II のPR及び利用促進のため

内容

JGN II を利用した「映像伝送技術開発」と地域における医療連携としての「遠隔医療等」をテーマとした講演会を遠隔医療に関する講演をライブで行い、あわせてJGN II についてもPR及び利用促進する。

プログラム

- 「超高速インターネット衛星を利用した地上波デジタル放送の再送信のための伝送・視聴技術の研究」(遠隔講演)
講師：首都大学東京 教授 西谷 隆夫氏
- 「超高速ネットワークJGN II を用いた遠隔医療ネットワークの開発ならびにネットワークを用いたユビキタス医療への取り組み」
講師：香川大学医学部 附属病院医療情報部 教授 原 量宏氏
- 「地域における遠隔医療 ～長崎県における遠隔医療の 現状～」(遠隔講演)
講師：長崎県立大学 国際文化経済研究所 教授 立石 憲彦氏

主催 四国総合通信局、JGN II 四国連絡協議会

後援 四国情報通信懇談会、香川大学医学部附属病院医療情報部

協賛 情報通信月間推進協議会進協議会

(3) JGN 2 利用の概要

全般にわたって、長崎－高松－東京間で遠隔講演を行いました。
映像配信については、D V T Sによる伝送を行いました。

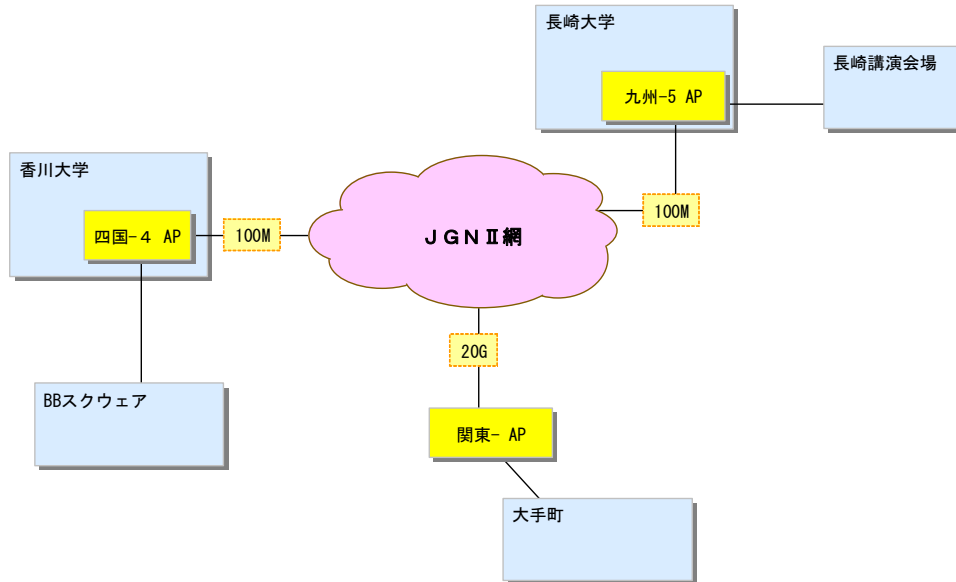
(4) 申請者

所属機関： 総務省四国総合通信局 情報通信部 電気通信事業課

(6) トポロジ (NW 及び機器構成詳細)

ア. 接続概念図

JGN II 四国連絡協議会総会・記念講演会 ネットワーク構成:
L2/uni-cast



(7) 参加人数

約 60 人

(8) 実施の評価

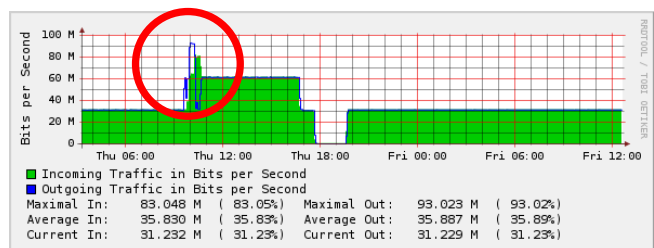
ア 評価

JGN II 回線を使っての遠隔講演について、東京からの講演については、フリーソフト利用によるリモートキャプチャを使用することで、パワーポイントによる遠隔講義も鮮明な画像を見せることができ、また長崎からの講演では DV 伝送できれいな画像を参加者に見せることができました。講演会の後、参加者から JGN II の利用について問い合わせもありました。



今回、香川・長崎、香川・東京と2地点を JGN II で結んで、手持ちの DV 映像伝送装置にて通信を行いました。本番前の通信試験時に、下り回線にて帯域不足特有のノイズが映像・音声に入ることがありました。

これは、香川大学<->札幌医大が常時 DV 伝送を接続しているところで、今回のイベントを行う際に、香川大学<->札幌医大の接続を切らなかったことにより、下り 100Mbps の帯域中 80~90Mbps を使用することとなって、帯域不足になったことが原因でした。



本番前に香川大学<->札幌医大の接続を切ったことにより安定して通信 (60Mbps) ができるようになりました。

2 地点を越える接続を行うには、手持ちの DV 伝送装置においてフレームレートを変更すれば多地点間でも利用できるのですが、そうするとイベントとしては不十分なものとなり、また、他の高性能な機器を利用するにも、機器の調達、費用、時間など問題もあることから、四国内のイベント利用に制限を設けることとなっています。

上を見ればきりがありませんが、できましたら、今後、多種多様となるイベントや一般利用において、ストレスがないような回線構成を設定していただきますよう、お願いいたします。